

## 施策評価調書(28年度実績)

施策コード Ⅱ-4-(1)

政策体系	施策名	国内誘客の推進と海外誘客(インバウンド)の加速	所管部局名	企画振興部	長期総合計画頁	111
	政策名	人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進	関係部局名	企画振興部		

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	国内観光客確保策の推進	海外誘客(インバウンド)対策の加速	広域連携の強化	観光誘客推進体制の整備

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		28年度			31年度	36年度	目標達成度(%)				
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125
i 県内宿泊客数(千人)	①②③④	H26	6,101	6,940	6,852	98.7%	7,100	7,300					
ii 外国人宿泊客数(千人)	①②③④	H26	400	560	827	147.7%	800	1,200					

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i 概ね達成	熊本地震の影響により、4月から7月まで宿泊客が減少したが、九州ふっこう割や風評被害対策のためのプロモーション等により、国内からの観光客数が回復し、目標値を概ね達成した。		達成
ii 達成	熊本地震の影響により、4月から7月まで宿泊客が減少したが、九州ふっこう割や風評被害対策のためのプロモーション等により、韓国に加え、台湾や中国からの観光客数が回復し、目標値を達成した。		

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロケツーリズムの推進によりロケ誘致に関するノウハウや人間関係を継承できる仕組みが整えられた。</li> <li>・大学生観光まちづくりコンテストの実施により、若者への情報発信の拡大が図られた。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語コールセンターを設置することで、外国人観光客が快適に旅行できる環境を整えた。</li> <li>・観光従事者等を対象に、インバウンド向けのおもてなし研修会を実施し受入環境の強化を図った。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮崎県と協力し、共通パンフレットの改訂を行い、開通した東九州自動車道を活用した周遊コースの提案ができるようになった。</li> <li>・長崎県・熊本県と連携して誘客に取り組む体制が構築できた。</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公社)ツーリズムおおいたが、県域版DMOの形成にかかる検討・調査や第2種旅行業登録を行い、組織体制の充実・強化を図った。</li> </ul>

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(28年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	29年度の方向性	
①③	国内誘客総合対策事業	135,909	A	継続・見直し	14
②	インバウンド推進事業	166,354	A	継続・見直し	15
	観光交流拡大推進事業【観光誘客対策DMO育成事業】	40,000	A	終了	16
	別府アルゲリッチ音楽祭連携海外誘客推進事業	54,518	A	終了	17
④	おんせん県おおいた県域版DMO推進事業	31,934	A	継続・見直し	18
	観光地域磨き推進事業	35,946	A	継続・見直し	19

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第3回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H28.7)</p> <p>・ラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリンピック等により多くの欧米観光客が訪れるが、彼らは温泉より食に関心を持っている。大分県には素晴らしい食があるが、伝統的な食だけでなく、フレンチやイタリアン等も含め、大分の食材を多様に提供できるよう取り組む必要がある。</p>	<p>○第4回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H28.11)</p> <p>・訪日外国人が相当な勢いで増加している中、欧米客を迎える意識がまだ十分でない本県は国民文化祭やラグビーワールドカップ等により、本当に欧米客に耐えうる地域か、コンテンツがあるのか問われると思う。ツーリズムの視点から1つの地域では対応できないことがあるため、県がリードし、オール大分、オール九州で施策を強く進めて欲しい。</p>
--	---

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各エリアの特性を活かした戦略的な国内誘客やプロモーションを実施。(国内誘客総合対策事業)</li> <li>・外国人観光客の誘致においては、ラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を契機としたアジア・欧米への情報発信、対象国に応じた旅行商品造成、多言語コールセンターやおもてなし研修など受入態勢の整備を行う。</li> <li>・県域版DMOにおいて、観光データの収集・分析等による国内・海外への効果的な情報発信・誘客さらには地域の魅力的なコンテンツ開発などを行うとともに、観光客の満足度向上のためのサービスを担う域内事業者の育成・支援を行う。</li> </ul>